

平成30年1月度活動報告

1. 総括

新年を迎え平成30年1月も多くの皆様方にご支援を賜り、議員活動に励ませて頂きました。誠に有難うございました。新年から日頃大変お世話になっている地域の新年会にてご挨拶をさせて頂き、やる気満々のスタートを切らせて頂いております。皆様から多くのご付託を頂いて、市議会議員にならせて頂いて約3年が経とうとしており、3年間の取り組みを「**たちあがれ敦賀!! レポート**」という形で纏めさせて頂き、1月下旬に敦賀市全域に配布させて頂きました。3年間様々な事に取り組ませて頂きましたが、大きく取り組んだ **1.「敦賀湾への漂着ゴミ問題」、2.「北陸新幹線敦賀開業を見据えた、中心市街地の街づくり(国道8号本町区間の空間活用整備)について」、3.「通学困難地域から中学校への新規スクールバス運行」**について詳細を記載させて頂きました。今回活動を振り返る中で感じた事は、当然ですが議員が前向きに現状の問題点を調査し、行政の関係部署と建設的な議論をして、敦賀市及び市民の皆様にとって何が一番重要かを深く考え、取り組みを進めれば、必ず市政環境は改善していくという事です。市議会議員の任期は残り1年3カ月ではありますが、引き続き全力で敦賀市政改善に向けて積極的に行動して参ります。

2. 視察報告

1月24日～25日、会派にて下記の通り行政視察を実施致しました。主に議会改革、運営の先進地域に行かせて頂きました。敦賀市議会の活発化にしっかりと活かして行きたいと存じます。

(1) 茨城県常陸太田市 (政治倫理条例について)

(目的)

茨城県常陸太田市は政治倫理条例において模範となる条例を制定しており、議員の公正さや議会の信頼を保つ為に努力を重ねてきている。敦賀市においても政治倫理条例はあるものの、県内他市と比べましても非常に条例内容が緩い状態である。今後、議員・議会の信頼を高めしていく為にも早急に政治倫理条約の改定が必要と考え、視察した。

(内容・成果)

今後の改定のポイントになる、「請負等に関する制限」の下記の項目は日立太田市でも制定されており、敦賀市としても早急に議論が必要だと考え、行動していきたい。

- ・議員、その配偶者又は2親等以内の親族が役員をしている企業等

(2) 東京都港区 東京インタープレイ株式会社 (議会におけるタブレット端末導入について)

(目的)

タブレットから始まるICT化による開かれた議会の推進と、クラウド文書供給システム導入による事務量等の軽減について、神奈川県逗子市議会の先進事例を紹介する研修会に参加。タブレット端末の導入経緯や、ICT化による開かれた議会の成果を学ぶ為、視察した。

(内容、成果)

タブレット端末導入による効果として、コピー使用枚数及びコピー使用料金が半減し、それにより事務局職員等の事務量軽減が図れたとの事。しかしシステム導入等の初期費用が掛かる事や、議場ではタブレット端末が見えづらく紙のワード文書を使用している議員もいる事から一概にタブレット端末導入がメリットだけとは考えづらい。将来的には全国的に進んで行くと考えられるので、引き続き研究は続けるべきと感じた。



以上